

科目名 「 歯科予防処置論 II」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	門脇 明美
科目ナンバリング C-8-⑦-I-16		
単位数	4	
学習目標 (GIO)	歯科衛生士の職務の根幹となるため知識、技術・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。	
担当教員	*門脇 明美, *中澤 広美, *鷹巣 美香, *和田 由紀子	
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第2版 全国歯科衛生士教育協議会 編集 医歯薬出版 (株) 歯科衛生士教本「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 第2版」全国歯科衛生士教育協議会 編集 医歯薬出版 (株) プリント配布	
参考図書	新歯科衛生士教本「歯科予防処置」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版 (株)	
評価方法 (EV)	実習評価 (課題提出) : 10%, 課題レポート : 10%, 中間試験 : 30%, 平常試験 : 50% で総合的に判断する。ただし、最終評価が60点の達しない場合には、追再試験期間に全範囲における再試験を行う。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし、歯科衛生士業務の一つである歯科予防処置論について説明する。相互実習が主体となるため、医療従事者として自己体調の管理に留意し、練習を十分重ねてください。前期で修得した知識、技能を高めて積極的に実習に臨んでください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/1	シャープニング	<p>【授業の一般目標】 シクルスケーラーのシャープニングができるようになるために知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. シャープニングの原則および目的を説明できる。 2. シャープニングする各種スケーラーの形態と名称を説明できる。 3. 刃部の状況に合わせた砥石を選択できる。 4. シクルスケーラーのシャープニングができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」第Ⅲ編3章①-6を読んでおくこと。p 204動画④⑤を確認しておくこと。 復習時間：30分、復習内容：シクルスケーラーのシャープニング方法を確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	*門脇 *鷹巣
第2回 10/2	相互実習について	<p>【授業の一般目標】 シクルスケーラー相互実習にむけての知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 歯科予防処置時に起こりうる不快事項とその予防方法について説明できる。 2. 不快事項に対して適切に対応できる。 3. 歯、口腔、歯肉の診査方法を説明することができる。 4. シクルスケーラー操作を適切に操作することができる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：シクルスケーラー操作を確認しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：相互実習に向けて、シクルスケーラー、歯面研磨、洗浄の操作方法を確認すること。配布したプリントを参考に術式、使用器具を覚えておくこと。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	*門脇

<p>第3回 10/8 第4回 10/9 第5回 10/15</p>	<p>相互実習 シックル スケーラー 上顎前歯部</p>	<p>【授業の一般目標】 患者に配慮し、口腔内で安全なスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者の経験を通じ知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 術者：患者に配慮し上顎前歯部のシックルスケーラー操作を実施することができる。 2. 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 3. 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：配布したプリントを参考に術式、使用器具を覚えておくこと。操作部位をマネキンで復習しておくこと。復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り実習記録用紙を記載し、マネキンでの操作を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第6回 10/16 第7回 10/22 第8回 10/23</p>	<p>相互実習 シックル スケーラー 下顎前歯部</p>	<p>【授業の一般目標】 患者に配慮し、口腔内で安全なスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者の経験を通じ知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 術者：患者に配慮し下顎前歯部のシックルスケーラー操作を実施することができる。 2. 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 3. 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：配布したプリントを参考に術式、使用器具を覚えておくこと。操作部位をマネキンで復習しておくこと。復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り実習記録用紙を記載し、マネキンでの操作を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第9回 10/29 第10回 10/30 第11回 11/5</p>	<p>相互実習 シックル スケーラー 下顎臼歯部</p>	<p>【授業の一般目標】 患者に配慮し、口腔内で安全なスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者の経験を通じ知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 術者：患者に配慮し下顎臼歯部のシックルスケーラー操作を実施することができる。 2. 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 3. 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：配布したプリントを参考に術式、使用器具を覚えておくこと。操作部位をマネキンで復習しておくこと。復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り実習記録用紙を記載し、マネキンでの操作を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>

<p>第12回 11/6 第13回 11/12 第14回 11/13</p>	<p>相互実習 シックル スケーラー 上顎臼歯部</p>	<p>【授業の一般目標】 患者に配慮し、口腔内で安全なスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者の経験を通じ知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 術者：患者に配慮し上顎臼歯部のシックルスケーラー操作を実施することができる。 2. 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 3. 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：配布したプリントを参考に術式、使用器具を覚えておくこと。操作部位をマネキンで復習しておくこと。復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り実習記録用紙に記載し、マネキンでの操作を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第15回 11/19 第16回 11/20 第17回 11/26</p>	<p>相互実習 シックル スケーラー 全顎</p>	<p>【授業の一般目標】 患者に配慮し、口腔内で安全なスケーラー操作ができるようになるために、術者、患者の経験を通じ知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 術者：患者に配慮し全顎のシックルスケーラー操作を実施することができる。 2. 患者：患者の立場を理解し、スケーラー操作時の配慮について感じることができる。 3. 補助者：術者、患者に配慮し、アシスタントワークを実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：配布したプリントを参考に術式、使用器具を覚えておくこと。操作部位をマネキンで復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：実習を振り返り実習記録用紙に記載し、マネキンでの操作を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第18回 11/27</p>	<p>歯周組織検査 キュレット スケーラーについて</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周組織検査ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。キュレットスケーラーを用いて歯肉縁下の歯石除去および根面の滑沢化の操作ができるために、キュレットスケーラーの構造と操作方法を理解し、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. ポケットの分類と特徴について説明できる。 2. ポケット測定のための目的、得られる情報、測定部位、測定時の注意事項について説明できる。 3. キュレットスケーラーの使用目的、特徴を説明できる。 4. キュレットスケーラーの操作方法を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習内容：60分 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編2章⑥、3章①を読んでおくこと。 復習内容：60分 グレーシースケーラー操作、プロービング操作の注意点等確認しておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>

<p>第19回 12/3</p>	<p>キュレット スケーラー マネキン実習 上顎</p>	<p>【授業の一般目標】 キュレットスケーラーを用いて歯肉縁下の歯石除去および根面の滑沢化の操作ができるために、キュレットスケーラーの構造と操作方法を理解し、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. グレーシースケーラーの構造を説明できる。 2. 歯周ポケット内でのスケーラー操作を実施することができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容： 前回の講義内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容： 上顎のグレーシースケーラーの操作方法について確認しておくこと。操作方法をノートにまとめること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第20回 12/4</p>	<p>キュレット スケーラー プロービング マネキン実習 下顎</p>	<p>【授業の一般目標】 キュレットスケーラーを用いて歯肉縁下の歯石除去および根面の滑沢化の操作ができるために、キュレットスケーラーの構造と操作方法を理解し、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. キュレットスケーラー操作を適切に行うことができる。 2. プロービングの操作を適切に行うことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：前回の実習内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：上下顎のグレーシースケーラー操作を確認しておくこと。操作方法をノートにまとめること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第21回 12/10</p>	<p>キュレット スケーラー マネキン実習 全顎</p>	<p>【授業の一般目標】 キュレットスケーラーを用いて歯肉縁下の歯石除去および根面の滑沢化の操作ができるために、キュレットスケーラーの構造と操作方法を理解し、知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する キュレットスケーラー操作を適切に行うことができる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：前回の実習内容を復習しておくこと。 復習時間：60分、復習内容：上下顎のグレーシースケーラー操作を確認しておくこと。操作方法をノートにまとめること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 実習</p>	<p>*門脇 *中澤 *鷹巣 *和田</p>
<p>第22回 12/11</p>	<p>中間試験および 解説講義</p>	<p>「臨床経験に基づき以下の内容を教授する」 【授業の一般目標】 歯科予防処置論を理解するための知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 歯科予防処置の基礎知識、歯周病予防処置法を説明できる。 【準備学習項目】 第1回～21回までの内容を復習しておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 客観試験および講義</p>	<p>*門脇</p>

<p>第23回 12/17</p>	<p>う蝕予防処置論 う蝕について</p>	<p>【授業の一般目標】 う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. う蝕予防処置に関連する生活習慣の把握方法と項目を説明できる。 2. う蝕と全身疾患の関連について説明できる。 3. う蝕予防処置法の臨床的効果、作用機序、安全性および便宜性について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」I編2章を読んでおくこと。 復習時間：30分、復習内容：講義内容を確認しておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第24回 12/18</p>	<p>う蝕予防処置論 フッ化物局所応用</p>	<p>【授業の一般目標】 う蝕予防処置法としてのフッ化物応用法について理解するための知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. フッ化物局所応用に使用する薬剤の種類と取り扱い法を説明できる。 2. フッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を説明できる。 3. フッ化物歯面等実施上の注意点を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」III編3章③を読んでおくこと。 復習時間60分、復習内容：講義内容を確認しておくこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第25回 12/24</p>	<p>う蝕予防処置論 フッ化物局所応用</p>	<p>【授業の一般目標】 う蝕予防処置法としてのフッ化物応用法について理解するための知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. フッ化物局所応用に使用する薬剤の種類と取り扱い法を説明できる。 2. 対象年齢と洗口方法を説明できる。 3. フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間60分：予習内容「歯科予防処置論・歯科保健指導論」III編3章③を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容：講義内容を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第26回 12/25</p>	<p>う蝕予防処置論 う蝕活動性試験</p>	<p>【授業の一般目標】 う蝕活動性試験を理解するための知識、技能、態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. う蝕活動性試験の条件を説明できる。 2. う蝕活動性試験の検体と評価項目を説明できる。 3. う蝕活動性試験の種類を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」III編2章⑧-4を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容：講義内容を確認すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>

<p>第27回 1/14</p>	<p>う蝕予防処置論 フッ化物洗口法 う蝕活動性試験 実習</p>	<p>【授業の一般目標】 フッ化物洗口法ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。 う蝕活動性試験が</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 使用薬剤の種類、濃度、取り扱い法を説明できる。 2. 対象年齢と洗口方法を説明できる、 3. フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：う蝕活動性試験、フッ化物洗口法について確認しておくこと。 復習時間60分、復習内容：実習を振り返り、内容を確認しておくこと。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*門脇</p>
<p>第28回 1/15</p>	<p>う蝕予防処置論 フッ素中毒量 算出法</p>	<p>【授業の一般目標】 フッ化物局所応用法ができるようになるための知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. フッ化物使用上の注意点を説明できる。 2. フッ化物中毒量を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 予習時間：60分、予習内容：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章③、「歯科衛生士のための齶蝕予防処置法」Ⅱ編第1章を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容：講義内容を確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第29回 1/21</p>	<p>う蝕予防処置論 小窩裂溝填塞法</p>	<p>【授業の一般目標】 小窩裂溝填塞法について理解するための知識、技能、態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 1. 小窩裂溝填塞材の種類と特徴を説明できる。 2. 小窩裂溝填塞の適応症を説明できる。 3. 小窩裂溝填塞の術式を説明できる。 4. 小窩裂溝填塞実施上の注意点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：「歯科予防処置論・歯科保健指導論」Ⅲ編3章④を読んでおくこと。 復習時間：60分、復習内容：講義内容を確認すること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	<p>*門脇</p>
<p>第30回 1/22</p>	<p>平常試験および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 歯科予防処置論を理解するための知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を説明する 歯科予防処置の基礎知識、う蝕予防処置法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 第23回～29回までの内容を復習しておくこと。</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 記述試験および講義</p>	<p>*門脇</p>